大阪市教

2011年 2月3日
VOL. 467
（一部30円。購読料は組合費に含む）

子育て新システム反対＝1月16日

大阪市教役員選挙
3月2日(水)・3日(木)

先輩のワザ連続講座
4月2日(土)14:00
アネックスパル法円坂

発行　大阪市学校園教職員組合　大阪市中央区法円坂1－1－35（大阪市教育会館内）
編集・発行人　中路 龍太郎
TEL 6910-8700 http://osaka-shikyo.sub.jp/
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyo1@sea.plala.or.jp

第22回青年フェスタ

出会い ふれあい 語り合い

2011年2月19日（土） 13時～

○記念講演　雨宮 処凛（かりん）さん
○授業づくりなど実践交流会
○夕食交流会・２次会

2月20日（日） 9時20分～

○実技講座
理科実験・レクリエーション・書道
作文・マット運動・学級通信・絵本
折り紙・ヨガ・太鼓・ウクレレ

箕面観光ホテル　阪急箕面駅

※青年に参加費補助あります

要求布を掲げて交渉＝1月20日

府庁包囲行動＝1月19日

府労組連交渉＝1月14日

一時金4%カット中止、給与カット幅0.5%圧縮

行政職4・5級を不当に降格・降給

「給与制度改悪」「給与・一時金カット3年延長」反対の越年闘争の結果、一時金4%（管理職は6%）カット中止（11年度より実施しない）、給与カット幅を0・5%圧縮（管理職以外、9・5%→9・0%、7・5%→7・0%、5・5%→5・0%、3・5%→3・0%）、給与制度改悪を強行し行政職4・5級を不当に降格・降給（経過措置は府労組連ニュース参照）する最終回答を府当局が1月20日行いました。

「副主査制度」については、高度の知識、能力を持って職務を遂行する職として位置づけ、任用方法について見直しを検討としました。

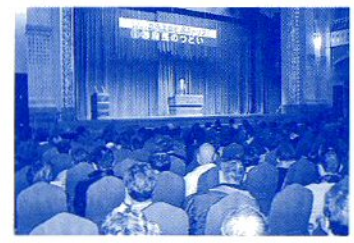
「評価制度の給与反映」については、府当局は「基本的には給与反映すべき」と言う考え方に固執し、「良好（標準）」以上の場合の昇給反映は行わないとしながらも、「良好（標準）」未満の場合の昇給反映は行うという姿勢は崩しませんでした。あわせて勤勉手当成績率の拡大も行うとしています。

府の最終回答は私たちの要求や怒りからみれば大きな隔たりがあります。しかし、その一方で秋季年末闘争からの粘り強いとりくみで、給与カット幅の圧縮や一時金カットの中止などの変化もつくり出しました。

大阪市教は、給与制度の抜本的見直し、給与カットの撤廃を求めるたたかいをいっそう強化します。また、府民いじめの橋下府政の転換めざし府民との共同を広げます。

府民のつどい

民意ゆがめる比例定数削減ストップ



「民意ゆがめる比例定数削減ストップ府民のつどい」が1月28日に行われ1000人が参加しました。

記念講演で森秀樹龍谷大教授は、「民主党は日米同盟深化、新自由主義化推進という自民党との競争的2大政党制を構築しようとしており、『生活第一』の公約を破り支持が急落した。小選挙区制（主軸）への移行、その突破口としての比例80削減」と指摘しました。

「国会を要求の届かない場にしてはならない」などの決意が語られました。

たんぽぽだより　2月

1月のたんぽぽ会議の「学習」は、自分の仕事だけではなく、社会全体の流れを知り、広く視野をもつこと。難しかったですが、自分を客観的に見たり、仕事の仕方を外から見たり、他の職種と見比べてみることは必要なんだなぁということを話し合いました。

会議の中心は、2月にある青年フェスタ。みなさん、青年フェスタに参加されたことはありますか？毎年箕面で開催されている、大阪府下の青年による、青年のためのイベントです。記念講演で著名人の方の話を聞き、青年の実践のレポートがあります。たくさんの交流をして、2日目には、引き出しが増える、講座がたくさんあり、その中から2種類選びます。府下の青年や、市教のみんなと仲良くなる機会でもあります。

仲の良い人と誘い合って参加するとさらに楽しめるので、ぜひ一緒に青年フェスタに行きましょう☆

学校財務会計システム 意見交換会で改善の回答

財務会計システムについての意見交換会を1月13日に行いました。

維持運営費について、Q「支出決議の入力誤りなど訂正印では訂正可能にならないか」A「情報公開時にデータと紙ベースが異なる問題があるが、検討はしたい」Q「集約物品の申し込みについて期間内は一時保存できないか」A「改善方策を研究していきたい」

学校徴収金について、Q「以前の『収支累計表』のように会計ごと学年ごとに収入金額・支出金額がでないのか」A「児童費・生徒費の学年ごとの収支累計は、決算情報データの活用をお願いしたいが学校において有効活用できる方法を考えたい」

就学援助費について、Q「転出入など異動情報を入力する必要があるにもかかわらず、認定・否認定通知が遅い上に請求の期日が迫っている。改善できないか」A「申請者が多く一般は8月中旬から下旬にかけての通知になっているが努力していきたい」Q「再審査を申し立てている申請者について、学校への連絡はできないのか。また非認定のまま変更がない場合でも、学校への連絡はできないのか」A「学校との情報共有化を図っていきたい」

旅費について。Q「管外出張の下見とか本番の経路入力の際、途中で訂正できないのか」A「今後、検討してまいりたい」

システム全般について、市教委は「お知らせやよくある問い合わせ等の充実を図っていきたい」との回答をえました。

仲間が増えた！

青年フェスタでさらに大きく飛躍を

「教育に穴があく」状況が続いています。

城北支部のA分会。病気休職が続き、人が足りません。組合員が、地域のつながりを頼って、なんとか、教職経験が初めての女性、Bさんが来てくれる事になりました。現場は大助かり。そのうえ、組合員のはたらきかけで、組合や運動の大切さを感じたBさんは、組合に加入してくれました。

青年の加入も続いています。北大阪支部では、職場の先輩が、ずっとはたらきかけてきた青年が、加入。支部の青年組合員がどんどん増えています。

打てば響く情勢。青年フェスタに向けて、さらに大きく飛躍を。

教え子を再び戦場に送るな！

大阪市教

2011年2月3日
VOL. 467

編集・発行人=中路 龍太郎
発行所=大阪市学校園教職員組合
大阪市中央区法円坂1-1-35(大阪市教育会館内)
TEL 6910-8700 FAX 6910-7990

収支不足248億円理由に 市民施策の削減ねらう

平成23年度予算編成過程公開

人件費削減33億円

無保険の子 3000人

大阪市の子ども3千人が1カ月半無保険状態でした（大阪市は12月中旬、子どもに短期証を郵送）。「無保険の子」が生じたのは市が、「滞納が1円でもあれば短期保険証発行」「未納額承認書への署名・押印を求める」「滞納処分の財産調査・財産差押さえ」の方針のもと、短期保険証を「窓口での交付」としたため子どもの保険証が窓口に留め置かれたためです。

来年度予算が2月市会で審議されますが、予算編成過程が公表され、主な課題として国民健康保険事業や生活保護行政が挙げられており、市民施策の削減を許さないとりくみの強化が求められています。

大阪市は平成30年度までに約2700億円、23年度単年度の概算見込みで248億円の収支不足が発生するとし、事務事業総点検で21事業3億円削減、人件費33億円削減（給与カット・採用抑制）、不用額（当該年度に支出しなかった予算残額）の圧縮（30億円）を行うとしています。

収支不足の真の原因は財務リスクです。阿倍野再開発事業の赤字の穴埋めが9年間で1559億円。大型開発をやめ、市長も言う資産、公債償還基金3100億円、関電株1700億円を活用すれば市民サービスの切り捨てや人件費削減は必要ありません。

市長の議会発言（市政だより12月号）
大阪市には、これまでの改革の実績と強い決意、また脈々と積み上げてきた資産があり、破綻しませんし、破綻など絶対にさせません。

23年度予算編成における主な課題
- 「新たな市政改革」の反映
- 「大阪市経済成長戦略」の取組
- 生活保護行政特別調査PTの取組
- 国民健康保険事業

〈教育委員会新規・拡充事業〉
- 小中一貫教育の推進……1億2700万円
- 特別支援学校の整備……3300万円
- 夏季教室内環境の調査……2100万円
  壁面緑化等の手法を組み合わせたモデルを用い、教室内温度を測定・分析し効果的暑さ対策検討
- 学校元気アップ地域本部事業
  24中学校区→76中学校区
- 学校給食調理民間委託の実施
  27校→37校

〈教育委員会事務局運営方針（案）〉
- 教育活動支援員……242人配置
- 特別支援教育補助員……191人配置
- 学校事務職員……27人削減
- 管理作業員……42人削減
- 給食調理員……36人削減
- 高校教員……11人削減

平成23年度予算編成過程の公開
（大阪市HP 1月5日）

臨時教員18万人 15・1%

近畿・中部 臨教のつどい

第21回近畿・中部臨時教職員交流のつどいが1月15、16日堺市内で開催され140名を超える参加があり、大阪市教の講師組合員も多数参加しました。

山口紀一実行委員長は、臨時教職員の待遇改善や採用試験の年齢制限撤廃など運動の成果が広がっていると報告。全国連絡会の上村和範副会長は基調報告の中で臨時教員が全国で昨年は17万8873人と教員の15・1%を占め、義務制にも非常勤講師が拡大し、異常な事態と強調しました。

全体会では「長い臨時教員生活を語る」と題して、臨時教員30年目で採用試験に合格した蓑田さんと26年目で正規採用になった谷さんが講演。合格までの間、支援学校で障害児と出会って教育観や人生観が変わったことなど、多くの経験と子どもたちやなかまの支えに恩返ししたいと語りました。5つの分科会で交流しました。

保育のサービス産業化 子ども・子育て新システム反対

公的保育制度を解体し、保育をサービス産業化する「子ども・子育て新システム」反対府民集会が1月16日、中央公会堂で開かれ、保育・幼稚園関係者、子ども連れの若い母親達1200人が参加し満員となりました。集会後、寒風をついて元気いっぱい西梅田までパレード。集会は「新システム」関連法案の国会提出の動きや、国が申請を却下した保育の最低基準を緩和する「保育特区」が、橋下知事の要請で再検討されることになったもとで緊急に開かれたもの。

京都市で「らく相談室」を主催する池添素さんは講演で、「新システム」で「買う保育」「売る保育」「もうける保育」になり、「犠牲になるのは子どもたち。子どもにも大人にも格差を持ち込むもの」と批判。参加者に共感が広がりました。

保育を利益前提の民間に頼るのは大きな問題があり、幼保一体化では教育現場の市場化につながる危険性もあります。参加者は、法案を出させない、出されても絶対に通さないために頑張る決意を固めあいました。

支援学級宿泊行事 市教委に申し入れ

大阪市教は1月6日、「第53回大阪市立中学校特別支援学級ふれあいステイ」の付添に対して勤務時間の割振りを行わないとした市教委に文書で申し入れを行いました。

「ふれあいステイの位置づけを明らかにすること」「勤務時間後の障がいのある子どもたちの安心と安全をどう保障するのか。障がいのある子どもたちの宿泊行事の意義と、指導の重要性と困難性をどう認識しているのか」「学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則を拠に、教育活動に困難を持ち込むのではなく、子どもたちの成長、発達を願う教育活動の条件整備を行う立場にたち、学校現場の混乱を解決すること」等を求めました。

教育ゆがめる 全国学テ中止を

大阪市教は12月28日、全国一斉学力テストの「希望利用」に参加しないこと等を求める緊急要請を市教委に提出しました。

全国学テは国民的な批判を受けて「悉皆調査から抽出調査へ」と制度変更を余儀なくされました。しかし、大阪市が「希望」したため、すべての小中学校で調査が行われました。

「競争の教育」をいっそうすすめ教育をゆがめる全国学テは中止すべきです。

栄養教諭の採用 給食費の無償化を

栄養教職員部

大阪市教栄養教職員部は1月12日、専門職種の要求に基づいた市教委との意見交換を行いました。

学校給食の調理業務民間委託事業については2011年度も新たな学校において実施が予想されることから、委託業者については、業者による業務内容に違いが出ないように市教委による業務評価を引き続き行うよう申し入れました。また、大阪市の給食水準が低下しないように「入札参加資格」を変更しないことを求めました。

要求実現につながる地場産の「田辺だいこん」の導入については、「大阪市食育推進計画」を受けて市内の生産量を考慮し、今年度は1ブロックのみの実施となったこと、今後も順次拡大していくこと、を明らかにしました。

食器の改善の要求については、材質を検討中であること、食物アレルギーの要求については、来年度から「うずら卵」も除去対応予定であること、等の方向性が示されました。

大阪市教は、栄養教諭の新規採用については計画的に行うこと、「給食費」の未納や余剰金の課題を解決するためにも給食費の無償化を行うことを強く要望しました。

（市ホームページは、学校給食調理民間委託を27校から37校にすることを来年度拡充事業として掲載）

学級設置要望提出 研究会で交流

障害児教育部

障害時教育部は市教委に、①大規模な特別支援学級や1年生が複数入級する学校など、児童生徒の実態に合わせた学級の設置、②医療的ケアなど特別な困難のある学校への教職員配置、③中学校の「ふれあいステイ」をめぐる問題を申し入れました（「ふれあいステイ」の申し入れは別項参照）。

設置希望 要望書提出

また、各学校・分会からの学級設置希望調査、要望書も提出しました。

障害教部は「障害時教育研究会」を月1回の定例で開いています。小中学校の新しく特別支援学級を担任になった人、通常学級担任で発達障害のある子どもたちに悩んでいる人、退職後も活躍している先輩など、多彩な顔ぶれで実践報告や交流、情報交換をしています。毎回、何か役に立つ、心の支えになる学習会として続けてきました。

1月初めには「研究会」参加者中心に、仙台で開かれた「全国障害児学級・学校交流集会」に参加しました。大阪府下の仲間とともに21名のツアーとなりとても楽しく参加できました。

今後の「研究会」の予定は、2月17日、3月17日、19時からアネックスパル法円坂（森之宮・谷町4丁目）で行います。参加を呼びかけます。